

## 1. 根津美術館の概要

- ・初代根津嘉一郎(1860～1940)の遺志により、その蒐集した美術品を保存・公開するため設立された私立美術館
- ・沿革 昭和15年(1940)財団設立、翌年開館  
昭和19年 戦争激化により蔵品疎開、昭和21年 展覧会再開  
平成2年(1990) 新展示棟竣工  
平成18年 改築のため休館、平成21年 新創開館
- ・所蔵品 書蹟、絵画、彫刻、金工、陶磁、漆工、木竹、染織、武具、考古 計7,414件  
うち、国宝7件、重要文化財87件、重要美術品94件

## 2. 所蔵品デジタルデータベースの構築

- ・平成2年 ファイルメーカーによる台帳のデジタルデータベース化のスタート
- ・平成18年～平成21年 休館期間を利用した悉皆調査と新規データベースの構築 →画像データの登録
- ・平成21年～現在 データの入力作業の継続

## 3. 所蔵品のデジタルデータのインターネット上での公開状況

- ・平成21年 ウェブサイトの「コレクション」← 所蔵名品図録
- ・平成23年 ウェブアプリの「デジタル・ギャラリー」 \* ウェブアプリ≒携帯端末向けサイト
- ・平成23年 文化遺産オンライン(および国指定文化財等データベース)への登録

## 4. アーカイブ化の限定的現状の要因

- ・データの加工／適正化
- ・公開の範囲＝所蔵品のどこまでを公開するのか
- ・インターネット上のデータの管理

## 5. アーカイブへの期待

- ・美術館としての情報化社会への貢献
- ・美術館情報の発信／広報ツールとしてのアーカイブ／画像利用の促進



- ▶ 展覧会
- ▶ イベント情報
- ▶ 利用案内
- ▶ アクセスマップ
- ▶ 根津美術館について
- ▶ コレクション
- ▶ 出版物

コレクション

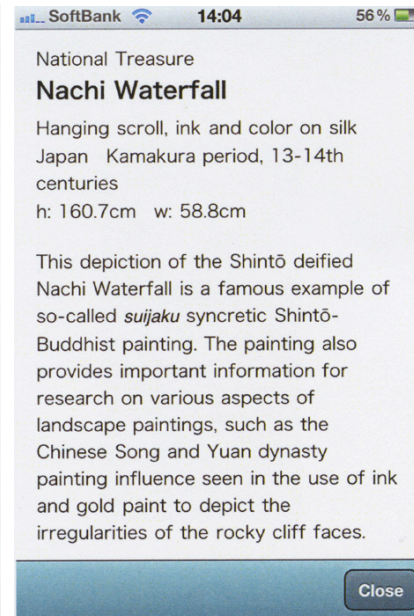
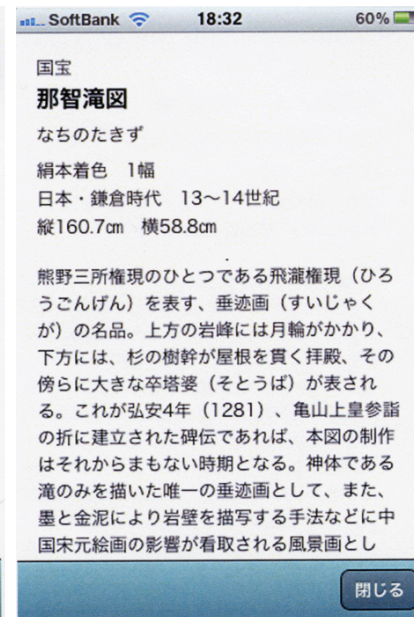
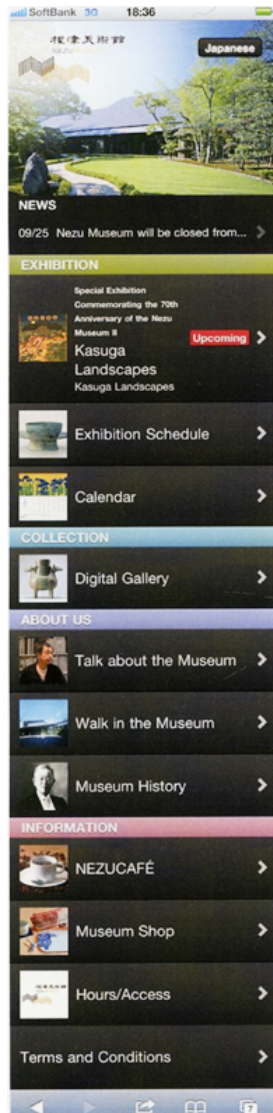
コレクション TOP

- ▶ 書蹟
- ▶ 絵画
- ▶ 彫刻
- ▶ 金工・武具
- ▶ 陶磁
- ▶ 漆工
- ▶ 木竹
- ▶ 染織
- ▶ 考古

HOME > コレクション

当館のコレクションは、平成23年3月末の時点で、7,414件を数えます。これらのうちには、国宝7件、重要文化財87件、重要美術品94件がふくまれています。コレクションから、分野ごとに名品を選びずくって紹介します。

<p>分野</p>	<p>書蹟</p>	<p>絵画</p>	<p>彫刻</p>	<p>金工・武具</p>
<p>陶磁</p>	<p>漆工</p>	<p>木竹</p>	<p>染織</p>	<p>考古</p>



# 文化遺産オンライン

Cultural Heritage Online

ヘルプ サイトマップ

時代から見る

分野から見る

地図から見る

文化財体系から見る

美術館・博物館を探す

## 青井戸茶碗 銘柴田 あおいどちゃわん しばた



大きく さらに大きく

その他の画像

全2枚中 2枚表示



工芸 陶磁 / 李氏朝鮮 / 朝鮮半島

瀬戸  
せと

朝鮮半島

朝鮮時代

高6.8~7.0cm 口径14.3~14.6cm 高台径4.8cm

一口

東京都港区南青山6-5-49

根津美術館

重要文化財

大きく開いた姿の美しい茶碗である。内側にはゆったりと轆轤(ろくろ)目がまわり、外側には5本の篋(へら)目が強く施されている。釉は淡い枇杷(びわ)色を呈しているが、一部で青味が表れ、ところどころに釉が飛んで青白い流れとなっている。見込みは大きく渦状になり、その周りに目跡が大きく5つ残り、高台畳付きにも5つ認められる。織田信長から柴田勝家が拝領したため、「柴田」の呼称がある。幕末には大坂の千種屋平瀬家に入り、明治36年に藤田家に移り、のち根津嘉一郎の有すところとなった。

作品所在地の地図



関連リンク